千葉県議会議員
こうの
河野としのり
レポート

千葉県議会議員 河野としのりの県議会報告

こうのとり

JR京葉線とりんかい線の相互直通運転により、新宿、渋谷により短時間で!!

河野としのり県議

京葉線とりんかい線の相互乗り入れ直通運転は、今まで県議会の中でも要望して来たが遅々として進まなかった、しかし、熊谷市長が浦安とか習志野とか船橋の沿線市等と協議会を作り、調査も予算化して、やっと現実に動き出した感が有ります。**都内に約二万人もの通勤・通学する美浜区の皆さんはこの直通運転には強い関心があります。**是非とも市長に頑張って戴きたい。県も当然やるべき事を遣って行く様に働きかけます。市長はこの事は前々から考えておられたと伺いました。

熊谷千葉市長

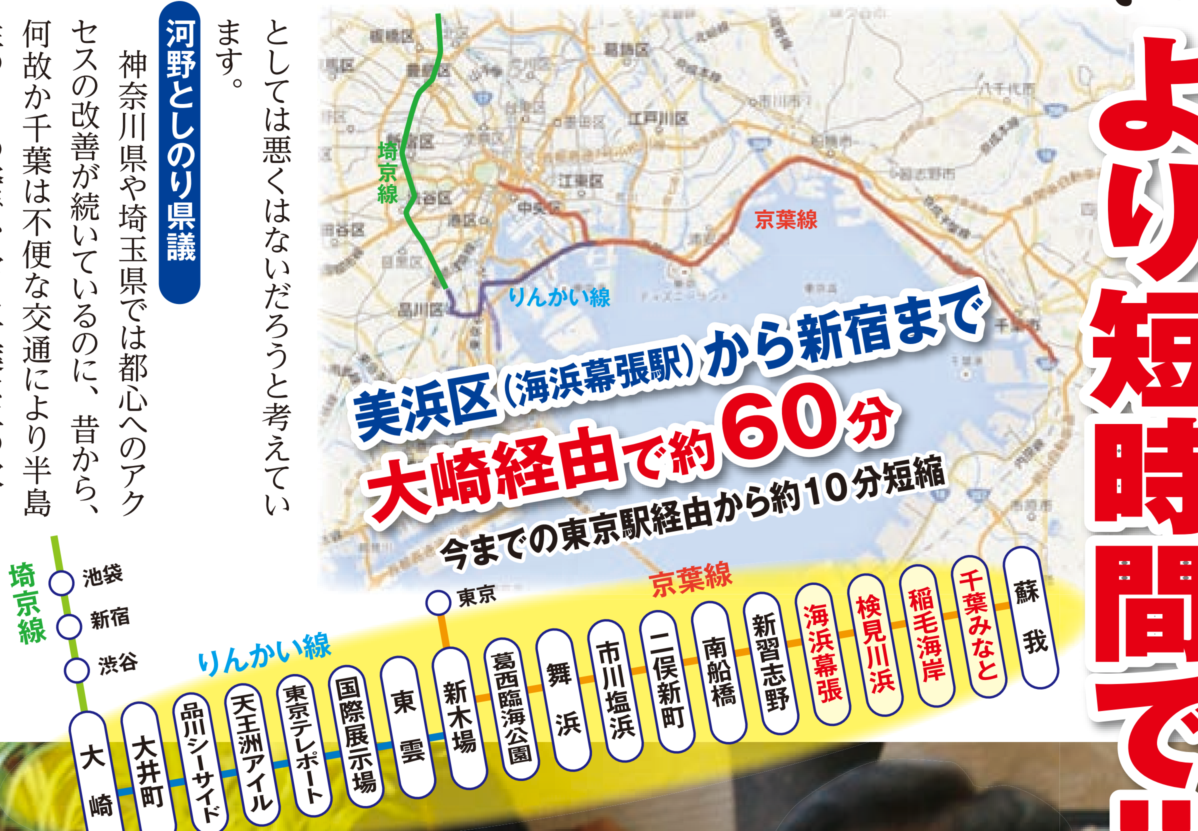
もちろん河野県議が京葉線の風対策、安全運転、ダイヤの便利さなどに日頃取り組んで下さっているのは承知ですが、その上で、京葉線をどうにかしなくてはいけない、もっと、魅力ある沿線を作るにはどうしたら良いか、ずっとこの間考えていました。その中で、一つ**必ず行き付くのは京葉線とりんかい線の使い辛さという事です。その相互直通運転が行われていないのは千葉側に不利な点であり、何とか出来ないか、**幕張メッセの競争力を高めるためにも遣ってみようか、という事で、メッセで開催されたイベントに合わせて列車を用意して実際に走らせた実績も作った。兎に角仕掛けなくてはという事で東京オリンピックに向かってタイミングとしては悪くはないだろうと考えています。

河野としのり県議

神奈川県や埼玉県では都心へのアクセスの改善が続いているのに、昔から、何故か千葉は不便な交通により半島性のままの姿で、常に千葉は二の次という気持ちが鉄道会社にも有るなと思っていました。しかし、千葉市が千葉県の発展の為に旗を上げて下さった事は、県も大いに刺激になり、これこそ本来の県のやるべき仕事と、やっと県も関東知事会でも積極的に表明するに至った。

熊谷千葉市長

一気に県の最重要課題の一つに上がってきて、やがて最高の体制になっていく。勝負が出来る段階まで来ていると思います。



河野としのり県議、熊谷千葉市長と語る

―便利な鉄道交通を目指し―

「物理的に線路は接続できている。千葉の発展と利用者の利便性の観点から相互直通運転を!」と語る河野としのり県議

海、砂浜ならではの賑わい、憩いの空間というものをこれから作って行かなければいけない!!

「安全で生活しやすい街に!」と市長と握手する河野としのり県議

河野としのり県議

美浜区は、綺麗な夕日が海岸から見れて、憩いの場となる安らぐような海岸線が有ります。市長の方から、夢の有るような計画をお伺いしたいのですが、

熊谷千葉市長

美浜区の海岸から東京湾を見た時に目の前の人工海浜と東京都心、更にはスカイツリーや富士山を臨むことができる絶好の眺望です。こんなに首都に近い場所にこれだけの砂浜を抱えているというのはそうそう無いと思うのです。極めて大事な場所ですけれど、今まで何も手を付けずに来ました。

やはり、海、砂浜ならではの商業、賑わい、憩いの空間というものをこれから作って行かなければいけない。

幕張に関しては県が所管しているので千葉市としてはスピーディに効率的に遣っていけない所が有ります。私達はいなげの浜、検見川の浜、幕張の浜、3つの砂浜の活性化を考えていますが、一番可能性が有るのは幕張の公園であり浜だと思っています。ビル群と同居する空間であり、ベイタウンの方々も、あのスカイデッキを渡ったらすぐにそういう場所が有って、潤いのある、いかにもベイタウンは海の都市だなと誇れるような空間を生み出せるのではないかと、**美浜区の方々も海を見ながら夕食を食べられる様な、そういう空間を作って行きたいですね。**

夕日が沈みカイトサーフィンで賑わう美浜区の海岸

深刻化する振り込め詐欺対策を急げ、河野としのり県議、警察常任委員会で訴える!!

警察常任委員会（平成二十六年三月十二日）の質疑応答から

河野としのり県議

特殊詐欺の増加傾向に対して、容易ならぬ状況だが、県警としてどのように認識しているのか。

千葉県警察本部 生活安全総務課長

委員ご指摘のとおり、本年一月中の特殊詐欺の発生状況は、認知件数七十六件、被害額約二億五千万円と、昨年同時期と比べて件数、額ともに大幅増となっており、二月以降も、依然としてこの傾向は続いております。県警としては、この現状を極めて深刻な事態と認識し、増加傾向に歯止めをかけ、被害を大幅に減少させるためにも、引き続き、県警全体の総力をもって、検挙・抑止両面の諸対策を、強力に推進してまいります。

河野としのり県議

先月末私の選挙区の千葉市美浜区でもあったのですが、市職員を装った還付金詐欺は半数以上の三十四件前年よりこれも大幅に増加していると報道されている。無人のATM、コンビニのATMなどの対策はどのように考えているのか。

千葉県警察本部 生活安全総務課長

委員ご指摘のとおり、還付金詐欺などは、無人のATMやコンビニエンスストアのATMから送金して被害に遭っている実態があります。その対策として、注意点を記載したチラシを配布すると共に、コンビニエンスストア防犯協力会のネットワークを活用し、**携帯電話を架けながらATMを操作している者に対する積極的な声かけを依頼し、また、犯行に利用されるおそれの高い無人ATMに対しては、警察官や安全安心サポート隊員を、発生多発時間帯に配置し警戒するなどの取組を行っております。**

河野としのり県議

他県では、金融機関以外でも宅配便の配送員、コンビニの店員などが現金を送ろうとしたり、ATMに携帯で話していたりしている所を不審に思い警察に通報して詐欺を防いだと聞くが、県警としては多くの事業者との協力関係はどのような状況か、

千葉県警察本部 生活安全総務課長

被害金が在中している疑いのある宅配便やレターパックを認めた場合には、警察に通報するよう申し入れが行われているほか、県警からコンビニエンスストアに対しては、中身が現金であると思われる宅配物や郵便物を扱った場合には、警察への通報をお願いしており、更に、高齢者と接する機会の多い民生委員や訪問看護士等に対し、訪問時に被害防止のための啓発活動等を依頼しております。なお、特異な事例として、タクシー運転手が被害を未然に防止した事例もありました。

河野としのり県議

電話機に留守番電話機能を付け、それを常に留守電にしていたり、録音機能を付けて詐欺を防いだり、そういったことは効果があると思うがどのように取り組んでいるのか。

千葉県警察本部 生活安全総務課長

特殊詐欺の犯行の大半は電話によるものであるため、**留守番電話機能や、通信事業者の提供する迷惑電話拒否サービスの活用は、犯人の電話に直接出ることがないことから、極めて有効な対策**であると考えております。県警では、県民の皆様が手軽にできる予防策として、在宅中でも留守番電話にしておくよう呼び掛けを行っております。また、昨年十月、通信事業者との間で、あらかじめ登録した電話番号からの着信を判別できる「迷惑電話防止サービスの実証実験」について覚書を交わし、同サービスの有効性を検証中であり、犯人からの電話がつながりにくい環境整備に努めているところであります。

河野としのり県議

振り込め詐欺で押収した名簿を使って警察の方から注意喚起する取組が全国で行われており、他の県では電話の他に郵便や戸別訪問で直接注意で呼び掛けるところもあるが、県警の取組はどうか。

千葉県警察本部 生活安全総務課長

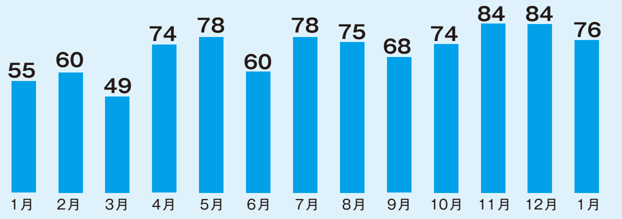
県警では、警察庁から提供を受けた押収名簿のデータを活用し、振り込め詐欺・悪質商法被害抑止コールセンターにおいて、本取組を開始した平成二十四年八月から平成二十五年十二月末までの間、約二万三千世帯に対して防犯指導を行いました。また、提供を受けたデータのうち、電話番号が判然としないものについては、警察官が直接個別訪問し、防犯指導を行っております。

振り込め詐欺による高齢者の被害の異常な増加を指摘する河野としのり県議

■都道府県別 特殊詐欺認知件数

都道府県	人 口	特殊詐欺認知件数	人口10万人に対する件数
全国合計	128,373,879	11,998	9.40
東京都	13,142,640	2,616	19.90
神奈川県	9,083,643	1,449	16.00
千葉県	6,240,455	839	13.40

■千葉県の特殊詐欺認知件数の推移（平成25年1月～平成26年1月）



こうの
河野としのり プロフィール

昭和48年	早稲田大学理工学部卒
50年	早稲田大学大学院修士課程修了
同 年	東洋エンジニアリング株式会社入社
平成7年	千葉県議会議員初当選
16年	千葉県監査委員
17年	防災対策委員
20年	民主党県連幹事長
23年	千葉県議会議員5期当選
現 在	民主党千葉県議会議員会 会長

ご意見・ご要望をお寄せ下さい。 e-mail info@t-kohno.com http://www.t-kohno.com FAX.043-211-0065

●河野としのり事務所● 〒261-0013 千葉市美浜区打瀬1-2-2 セントラルパーク・イースト F棟1305 TEL.043-211-0024 平成26年7月1日発行